



日本の知恵、
プラスチックの知恵

環境にやさしい 防火用水

「火事と喧嘩は江戸の華」といいますが、時代劇での立ち回りのシーンで、お決まりのように崩すのが、軒先や通りの辻角などに置かれている天水桶てんすいおけ。屋根から、軒先の樋を通った雨水を溜める防火用水です。そのはじまりは江戸時代の寛政(1789～1801)ころとされ、当時は頻繁に起こった火事の備えとして欠かせないものでした。

現在でも小江戸と呼ばれるような各地の古い街並みで見かけることがあります。大切な恵みの雨を夏の打ち水などにも活用しながら、防火の心構えにしています。雨水を無駄なく活用して、有事に備えて環境にもやさしい働き。住友ベークライトの食品用透明フィルム「ECOCeeel[®] (エコシール)」は、ゴミの排出量軽減にも貢献する製品。機能性ある多層構造で、強く薄く、しかも20%も軽くなり、環境にやさしい食品包装のシートとしてもお役に立っています。

深絞り包装用フィルム
エコシール
ECOCeeel[®]



天水桶

プラスチックのパイオニア
 住友ベークライト株式会社

フィルム・シート営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <http://www.sumibe.co.jp>

